

本日も議論いただきたいこと

1. 経緯

これまでの当専門部会の議論では、在宅療養者の服薬管理支援において、まず情報の共有・一元化が大事であることを共有し、前回、情報共有ツールとして電子お薬手帳の普及に全市的に取り組むとともに、市民 P H R システム「MY CONDITION KOBE」に電子お薬手帳を連携させることにより健康情報等とともに調剤情報を閲覧できる仕組みについて提案した。

電子お薬手帳については、薬局・薬剤師と在宅療養者・家族のための記録・支援ツールのみならず、医療・介護関係者間の服薬情報共有ツールとして活用されることが望まれている。

市民 P H R (MY CONDITION KOBE) と電子お薬手帳との I C T 連携については、さらに検討中であるが、電子お薬手帳を在宅療養者の服薬情報の共有ツールとして活用していくためには、さらなる普及が必要である。

2. ご議論いただきたいこと

○高齢者の電子お薬手帳普及のための必要な方策について

(電子お薬手帳が普及していない理由やどのような取組みや仕組みがあれば高齢者へ普及していけるか)

- ・ 電子お薬手帳の機能やメリット等の周知の観点
- ・ 高齢者、家族の利用のしやすさの観点
- ・ 支援者側のメリットの観点
- ・ 電子お薬手帳の機能を生かした ICT 連携の可能性の観点
- ・ 各職種・団体等における普及に向けた取組みについて など